

## 補助金チェックシート

(1)

①補助金名称		長岡京ガラシヤ祭(市民まつり)実行委員会補助金								課内No.	1
事務事業名		長岡京ガラシヤ祭(市民まつり)実行委員会				担当所属名		総務課			
②事業期間		始期	平成4	～	終期	継続					
③補助金の分類【選択】		③団体運営補助					④性質【選択】		①市単独		
⑤予算科目		会計	01	款	02	項	01	目	08	細目	0
⑥根拠法令・規程		長岡京市自治振興団体補助金交付要綱									
⑦必須業務の有無【選択】		無	内容		-						
⑧補助金開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		市制施行20周年を契機に、長岡京市ゆかりの細川ガラシヤの「愛と感動の物語」をテーマにした長岡京の歴史と伝統を生かした老若男女が参加できる市民まつりを地域振興を目的に開始した。									
⑨補助金開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		市民同士のふれあいの機会を創出する市民まつりとして出発し、内容の充実を図ってきましたが、民間主導での開催を求める声が高まっています。									
⑩補助金の目的		長岡京市の市民まつりとしての定着と市民及び各種団体のふれあいを促進できる祭りをめざし、財政面の支援を行います。									
⑪補助金の内容	対象者・団体等	長岡京ガラシヤ祭実行委員会									
	対象者・団体等が補助金で行う活動	長岡京ガラシヤ祭の企画及び実施									
⑫補助金の成果 (誰にどのような成果があるか)		多くの市民が参加することにより、歴史豊かなふるさと長岡京への想いを培い、活力ある地域振興に寄与しています。また、平成20年度からガラシヤウィークとして様々なイベントを開催し、より多くの市民の参加を得ました。									
金額(円)／年度		22年度決算		23年度決算		24年度予算					
⑬財源内訳	国庫補助金	0		0		0					
	府補助金	0		0		0					
	その他補助金	0		0		0					
	一般財源	15,000,000		15,000,000		15,000,000					
	合計	15,000,000		15,000,000		15,000,000					
	前年度比(今年度－前年度)	-		0		0					
業⑭の団体 財務又は 内容事	(団体運営補助の場合)団体の決算・予算 (事業補助の場合)事業の決算・予算	23,520,775		26,019,847		23,890,730					
	繰越金	3,179,249		2,340,730		-					
	市の補助金の割合	63.8 %		57.6 %		62.8 %					

## 補助金チェックシート

(2)

補助金名称(再掲)		長岡京ガラシャ祭(市民まつり)実行委員会補助金		担当所属名(再掲)		総務課		課内No.	1	
視点	点検チェックポイント				チェック・記述欄					
⑮ 必要性	市民ニーズや社会情勢の対応として、補助金目的が補助金の開始時点と比べて希薄化していない				はい					
	市において目的が類似した補助金がない				はい	-				
	補助金で行われる活動に対して、市が関与する必要がある				はい					
	市が補助金支出という手段で対象者・団体等に関与する妥当性がある				はい					
	法令、計画、通達などにより市の補助金の支出が定められている				いいえ	-				
	市民の必要最低限度の生活の維持に関して、必要不可欠な補助金である				いいえ					
	市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響がある				はい	-				
⑯ 優先性	補助金の目的・内容・実施時期に緊急性が認められる				いいえ	-				
	補助金の支出により第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させることができる				はい	文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力の向上」				
	補助金の支出により自治体間でのサービス内容に差がつけられたり、地域の魅力が増すことができる。				はい	歴史資産に根差した地域ブランド力の向上				
	施策として遅れており、弱点を補完する補助金である				いいえ					
	住民の参画または主体的な活動を促進する目的がある				はい					
	市民ニーズや社会情勢の多様化に対応するため、補助金の対象や内容について見直しを行っている				はい					
⑰ 公平性	わかりやすい情報発信を行っている				はい	実行委員会のホームページや広報長岡京、各種媒体で告知				
	補助金対象団体の会計担当者の押印ある決算報告書並びに第三者の会計監査を受けた書類等の作成、提出がなされている(※個人補助はチェックしなくてよい)				はい					
	公募制度を導入している				いいえ					
	補助事業者や団体において、適切な受益者負担を徴収している				いいえ					
	多くの住民、広い地域に還元する活動や事業である(※人口でおおよそ10%、地域で小学校校区程度)				はい					
⑱ 効率性	過去3年以内に補助金の内容・補助額等を見直した				はい					
	事業または団体に対する補助割合が半分以下であり、零細補助でない(※零細補助とは、5万円以下の補助)				いいえ					
	具体的に説明できる費用対効果がある				いいえ					
	補助金としての期限、終期を設定している				いいえ					
⑲近隣市町の状況【選択】		本市のみ実施	他市町の事例		-					
⑳23年度の取り組み(昨年度)		開始から20回目を迎えることから、記念事業としてマスコットキャラクターの着ぐるみ作製による広報・宣伝の強化をはじめとして、行列とイベント内容双方を充実する中で実施しました。								
21)24年度の取り組み(今年度)		11/3～11/11をガラシャウィークとし、長岡京ガラシャ祭実行委員会に、有識者委員の参加を頂きながら、民主導、市民目線での事業展開が行えるよう取り組みます。また、運営に公募ボランティアの参加を呼び掛けたり、市内の他のイベントと連携を図ることにより、これまで祭に参加していない年代層にもアプローチを図ります。								
22)25年度の取り組み(来年度)		今年度の取り組み状況を踏まえる中で、民間主導による実行委員会の推進体制確立に向けて、参加団体等と協議しながら、内容の充実を図ります。								
23)今後の方向性【選択】		現状維持	今後の取り組み		ガラシャウィークの各イベントや行列等への市民参加機会の拡大を図り、より市民に親しまれる事業としていきます。					
24)その他特記事項(留意事項など)		各種団体が実行委員として参画するなかで運営しているが、担当者は毎年交代することなどから、企画内容の検討は民間移行は可能であるが、運営については一定の関与が必要となります。								